

平成30年度第2回江別市青少年健全育成協議会会議録（要点筆記）

日 時：平成31年2月6日（水）午前10時00分～午前11時00分

場 所：江別市教育庁舎（1階大会議室）

出席者：7名

山谷敬三郎会長、伊藤穎毅副会長、古川孝行委員、佐藤正勝委員、吉田功委員  
深津恵美委員（代理）、三上真一郎委員

欠席者：5名

河治昭委員、鎌田直子委員、大野仁寛委員、中川幹彦委員、板谷正志委員

事務局：4名

萬教育部長、谷口学校教育支援室長、松井教育支援課長、篠原教育支援担当主査

次 第： 1 開会

2 議題

（1）平成29年度少年健全育成活動報告の概要について

（2）平成30年度の取組状況について

（3）江別市いじめ防止対策審議会について

3 その他

4 閉会

篠原主査

本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。  
教育支援課教育支援担当主査の篠原です。よろしくお願いします。  
会議の前に、本日の出席状況を報告します。

河治委員、中川委員、板谷委員がご都合により欠席され、深津委員の代理として、北海道石狩振興局保健環境部保健行政室健康推進課の山本指導主任保健師にご出席をいただいております。大野委員、鎌田委員がまだお見えになっていません。

なお、傍聴につきましては本日特に申請がございません。  
それでは、開会に先立ちまして、教育部長からご挨拶申し上げます。

教育部長

<挨拶>

篠原主査

それでは、これからの進行を山谷会長にお願いします。

山谷会長

それでは、平成30年度第2回江別市青少年健全育成協議会を開催いたします。今年初めての開催となりますので、よろしくお願いします。

千葉県で発生した小4女兒に対する虐待事件では、学校や市教委の対応に問題があったことや、山口県で発生した高2男子の自殺では、県いじめ調査検証委員会において、県教委第三者委員会がまとめた調査結果を不十分として、いじめが自殺のきっかけであったと判断したことなど、現在大きく報道されていますが、これらの報道に触れ、私どもの青少年健全育成の活動が、幅広い観点から取組みが行われ、点から線へ、そして面へと繋がるようにしなければいけないと思いを強くしました。

保護司や民生児童委員の成り手不足など、様々な課題はありますが、各々の立場で子ども達の為に頑張っていきたいと思えます。

本日の議題にも関わりますが、江別市いじめ防止対策審議会が発足され、私はその委員にも就任しました。青少年健全育成協議会は、幅広い青少年の健全育成活動を通じて子ども達の健やかな成長を手助けするための組織であり、いじめ防止対策審議会は、いじめの未然防止や重大事態の調査を行う組織です。この2つの委員は重なる部分もありますが、性格を異にするものであるため、兼職は適切ではないと判断しておりまして、青少年健全育成協議会委員を今年度を持ちまして辞退する所存です。会議冒頭ではありますが、皆様にご了解いただきたいと思います。

それではこの後の会議を進行させていただきます。

お手元の次第に沿って進めたいと思えます。議題(1)平成29年度青少年健全育成活動報告の概要について事務局から説明をお願いします。

篠原主査

<冊子「平成29年度青少年健全育成活動報告書」の説明>

山谷会長

報告書の分量が多いので、項目に区切って確認をしていきます。

巡回指導活動についてですが、課題などを振り返っていきます。遊技場の出入りでは、保護者同伴ではない小中学生が散見されたこと、店舗では、万引きの報告件数が減少していること、公園とレンタル店では、利用マナーは概ね守られていたこと、交通安全では、高校生の二人乗りや小学校低学年の飛び出しが見られたこと、カラオケボックス・公民館・その他では、SNSの利用の広がりについて報告がありました。このことについて、ご意見ご質問はありませんか。

全委員

<意見等なし>

山谷委員	次に、不登校についてですが、不登校児童生徒数は全児童生徒数の1%台に留まっているものの増加傾向であり、学校復帰の割合は概ね3割であることが報告されました。すぽっとケアの活動状況とあわせて、ご意見ご質問はありませんか。
佐藤委員	表3（34ページ）不登校の態様について質問があります。不登校が7つの態様に区分されていますが、民生委員の活動を通じて、生活困窮・貧困問題は、江別市でも無関係ではありません。社会福祉協議会に設けられている専用窓口への相談件数も増加しています。生活困窮が不登校の直接的な原因ではないにしても、それに起因するような情緒不安により不登校に至っている事案などはありますか。
山谷委員	学校生活上の原因から登校しない学校生活起因型、無気力で何となく登校しない無気力型、身体の不調や漠然とした不安など情緒的な混乱によって登校しない不安情緒混乱型など、不登校の態様が要因によって区分されていますが、生活困窮、貧困の区分は有りません。子どもの貧困問題は、不登校に限ったことではありませんが、何かデータなどがあれば報告してください。
篠原主査	不登校に至る要因は複合的であるため、経済的な問題が関係してくることもあります。その場合は、教育支援課に配置しているスクールソーシャルワーカーが、市健康福祉部などと連携して、対応にあたることとなります。なお、スクールソーシャルワーカーが昨年度に受けた相談実績では、貧困の問題に関するものはありませんでした。
山谷会長	教育委員会が把握するケースでは、スクールソーシャルワーカーが早期に状況把握や他機関とのスムーズな連携が図られている状況だと思います。 他に不登校の対応についてご意見ご質問はよろしいですか。
全委員	<意見等なし>
山谷会長	次に、いじめについてですが、29年度は前年比で3倍近く認知件数は増加していますが、いじめのきっかけにもなり得る児童生徒間の小さなトラブルもいじめとして早期に対応したことが増加要因であることが報告されました。また、表13では、いじめの解消状況として、深刻化しているような状況ではなくて、すべて解消しているとのこと。今後も、深刻な状況にならないように初期の段階から対応していただきたいと思います。 いじめについて、ご意見ご質問はありませんか。
全委員	<意見等なし>
山谷委員	それでは、次に進みたいと思います。 議題（2）「平成30年度の取組状況について」事務局から資料の説明をお願いします。
篠原主査	<資料1の説明>
山谷会長	ダイレクトメールの件数、ネットパトロールの結果、情報モラル教育啓発講演会の開催とクリアファイル配布、えべつ中学生サミット&いじめ根絶ことも会議の開催、立入調査の実施について報告がありました。このことについて、ご意見ご質問はありますか。

全委員	<意見等なし>
山谷会長	それでは、議題（3）「江別市いじめ防止対策審議会について」事務局から資料の説明をお願いします。
松井課長	<資料2の説明>
山谷会長	江別市いじめ防止対策審議会について説明いただきました。当協議会の活動と関係するところが多いことから、協力して進めていかなければなりません。それでは、ご質問ご意見等はございませんか。
佐藤委員	報道されている千葉県的事案は、いじめ防止対策審議会の調査対象ですか。
山谷会長	児童虐待は、いじめ防止対策審議会が直接的に取り扱う事案とはなりません が、事案の背景にいじめ問題が関係していないか把握していく必要はあります。
佐藤委員	いじめや虐待を判断する際、非常に難しいケースがあると思います。その判断の線引きがどういうものなのか疑問に思い質問しましたが、いずれにしても迅速な初期対応は重要だと思います。
山谷会長	千葉県的事案では、学校や教育委員会の対応の検証を行なう必要があると思います。他にご意見ご質問はありませか。
吉田委員	委員構成ですが、弁護士は必ず入るのですか。
松井課長	基本的に、弁護士には審議会に入っていただくことになります。
吉田委員	いじめの真相究明には、弁護士の方の協力が必要だと思います。
山谷会長	弁護士会に依頼をして、弁護士が選出していただくという形になっています。非常にバランスが良く委員構成されていると思います。いじめの未然防止を含めて、対策に知恵を頂けると考えています。他にご質問ご質問はありませんか。
全委員	<意見等なし>
山谷会長	それでは本日より予定していた議題をすべて終了しました。全体を通して質問などはありませか。
全委員	<質問意見なし>
山谷会長	次に、次第3「その他」ですが、各委員からございませんか。
全委員	<b>【意見等なし】</b>
山谷会長	事務局より何かありますか。
松井課長	本年度に開催予定の青少年健全育成協議会は本日で終了いたします。山谷会長、そして委員の皆さま、本協議会にご参加いただき、ありがとうございます。本日、皆さんからいただきましたご意見につきましては、今後の青少年の健全

な育成を図るため参考とさせていただき、施策を推進していきたいと考えております。

来年度の開催は6月頃を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

また、山谷会長におかれましては、江別市青少年健全育成協議会会長として、永きにわたり、本協議会の運営にご尽力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

山谷会長

それでは、以上で平成30年度第2回江別市青少年健全育成協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。